

学びの秋

—小児科スタッフも勉強しています!—

第50回日本小児アレルギー学会学術集会 [10月19・20日 横浜]

今回の学会のテーマは「気管支喘息」と「食物アレルギー」で、それらに関連した発表が多くありました。具体的には、食物アレルギーにおける学校・保育所での対応やアナフィラキシーショック時の対応・エピペン使用のタイミングなど、さまざまな取り組みについて講演があり、たくさん学ばせていただきました。また昨年12月、学校給食でアレルゲンの入った食品を誤って食べたため亡くなった小学5年生の女儿Sちゃんの追悼シンポジウムもありました。ご両親が「娘のことを知ってもらいたい。娘の命を無駄にしたくない」と語られました。Sちゃんはとても前向きな明るいお子さんで、自分のアレルギーについてもよく理解し、将来は研究者になってアレルギーで困っている子どもたちを助けたい、という夢を抱いていたそうです。この事故をきっかけに、厚生労働省や各自治体では食物アレルギー児への対応の検討が進められていますが、まだまだ現場での混乱は多いようです。Sちゃんやご両親の思いに少しでも応え、このような事故が二度と起こらないように、私たち医療者としてできることをしていきたいと思えます。

(仲條)

第54回日本児童青年精神医学会総会

[10月10・11日 札幌]

子どもの心の診療を行っている専門家の勉強会です。印象深かったのは山梨県立こころの発達総合支援センター長、本田秀夫先生のセミナー「自閉症スペクトラムに特有の発達を考える—多様性と連続性の視点から—」で、いろんな人が良いところを上手に発揮して認められ、自分でも満足できる人生を送るときと素敵なお社会ができるな〜と思いました。

(長谷川)

第16回乳幼児精神保健学会

[11月2・3日 広島]

「赤ちゃん登校日授業」に関する取り組みの発表を行いました。「赤ちゃん登校日授業」とは、赤ちゃんとその母親が学校に来て、小学生と継続した関わり体験をおこなう授業で、私は現在、石川県で「赤ちゃん登校日授業」のお手伝いをしています。全国から多くの参加者があった大会で発表することができ、この取り組みに関心を向けてもらうことができました。信濃町でもこの授業を行えるといいな、と思えます。

(風間)

外来時間のご案内

一般外来 午前 月～金曜日 8時30分～11時30分
午後 月・火・木曜日 15時～15時30分
水曜日 15時30分～16時15分

注) 金曜日の午後診療はありません

予防接種外来 月・木曜日 14時～15時 予約制
相談外来 火曜日 14時～15時 予約制

※予防接種はワクチンの準備のため、4日前までにご予約ください。
※予防接種は一般外来でもお受けしますが、その場合も予約が必要です。
※予約をお受けできる人数に限りがありますので、早めのご連絡をお勧めします。
※予約のお電話はいつでもお受けしますが、午前の外来時間帯は対応できないこともあります。あらかじめご了承ください。

12月の休診情報

3日 午後
16・17日 午前・午後
28日～1月5日 年末年始休み



※ ニュースレターは信越病院のホームページからもご覧いただけます